

～店長から漁師への挑戦～  
高橋 洋幸さん(新居浜市)

多喜浜漁業協同組合 1974年生まれ



☆経営概況☆

小型機船底びき網 使用漁船(4.9トン) 主な漁獲物(ハモ、タイ、エビなど)

☆ここがポイント☆

■きっかけと就業まで

高校卒業後、進学のために県外に出て、県外の企業に就職しました。仕事を頑張り、30代で店長になりましたが、次第に自分の将来を見つめなおすようになりました。そのような時、偶然、地元の旧友から漁業で家族を養っていることを聞き、**年齢を重ねても自分のペースで働けることや、地元で働けることに魅力**を感じ、実家が漁師ではありませんでしたが挑戦を決意しました。

就業は、地元漁協がウェルカムだったことや、先輩漁師から漁船や漁具を譲っていただけただけことから、スムーズにできました。

■最初から直感は厳しい

始めた当初は、自分の直感で獲れそうな漁場へ行っていたのですが、どの深さまで網を降ろしたら魚を獲れるのか、仕掛けをどうするかなど、わからないまま網を入れてしまい、結局、思うような水揚げを得られませんでした。また、漁具を壊してしまい、修理にお金と時間がかかってしまった事もありました。今思えば懐かしいです(大笑)

ですが、転職のきっかけを作ってくれた旧友が先に漁師になっていたことや、先輩漁師で網の仕掛けを教えてくれる人がいたことが幸いし、漁業の腕が上がっています。

■慣れると季節に応じて狙いを変える

季節や海況によって獲れる種類が異なっています。昨日まで獲れていた魚が、翌日には獲れなくなることもあります。**新しい海況や情報を取り入れて操業するように心がけています。**

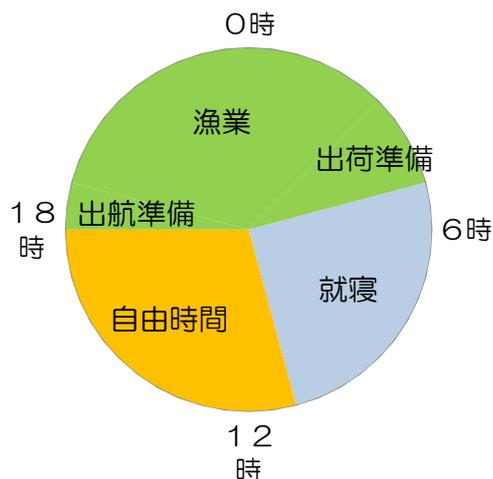


就業してから2隻目の漁船



網の手入れは欠かせません

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

操業は、**2日出漁 1日休み**でおこなっています。底びき網は季節によって獲れる魚が異なることや、日によって獲れる量も違うので、獲れる時は出漁日を増やします。**昼夜逆転ですが、1週間程続けると、意外と体が慣れてきます。**魚やエビが多く獲れると嬉しいですが、仕分け作業で長時間同じ姿勢を続けることがつらいところです（笑）。

休日は、家族と市内へ買い物に出かけて気晴らしをしています。休日を自分のペースで決めることができるので、心にゆとりを持った生活が送れています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 出漁 →		← 休日 →	← 出漁 →		
【普通期】	← 出漁 →	← 休日 →	← 出漁 →		← 休日 →	← 出漁 →



今日も無事帰港しました



獲れた魚はすぐ近くの市場へ運びます

☆これからの夢や目指すもの☆

漁業を続けていると、海の様子がわかるようになってきます。技術についても、就業当初は網などを傷つけたり、壊したりしていましたが、**だんだんとそのようなことが減っています。**また、**収入も徐々に上がってきています。**今後は、**季節に応じた魚を上手く獲れるようになりたいです。**

☆メッセージ☆

日々、漁場や網の仕掛けについて先輩漁師に相談しています。職業がかわっても、コミュニケーションの大切さには実感させられています。**漁業に興味があれば、多喜浜漁業協同組合（TEL0897-46-1090）へご連絡ください。**皆さんも新たに漁業に挑戦してみませんか。